



富岡に眠っている宝物に、再び命を吹き込む

とみおかリノベーションまちづくり

平成28年度から、県や富岡商工会議所の協力のもと、リノベーションまちづくり事業を実施しています。富岡をもっと面白く、暮らしやすい場所に変わるための「官民連携」の取り組みをご紹介します。

問い合わせ 拠点整備課 ☎内線1332



リノベーション

リノベーション (RENOVATION) は「革新」を意味し、既存の建物を新しく生まれ変わらせることで性能を新築の状態よりも向上させたり、価値を高めたたりすることを言います。リフォームが「老朽化した建物を新築状態に戻す」ことに対して、リノベーションは「新しい価値を付け加え、生まれ変わらせる」という違いがあります。

リノベーションまちづくり

リノベーションまちづくりとは、まちの財産である遊休不動産(空き店舗・空き家)や活用されていない公共空間を使って、民間の力で都市・地域経営課題を解決する産業を生み出すことです。*「家守会社」が中心となって遊休不動産をリノベーションすることでエリアの価値が上がり、地価が上がることで、不動産オーナーに還元し、持続可能なまちにすることを最終的な目的としています。

*「家守」とは、江戸時代、不在地主に代わって長屋の管理をしたり、店子の面倒をみたりした、まちの顔役のこと。

- 例えば…
- ▽リフォーム
長屋→長屋
 - ▽リノベーション
長屋→まちやど(宿泊施設)

リノベーションスクール 受講生の近況

平成29年度リノベーションスクール受講生は、富岡の地域課題を解決する産業の一つとして「まちやど」を提案しました。(20ページに対象物件のリノベーションプラン図を掲載)

「まちやど」は、食事は近隣の飲食店で、土産は近隣の商店で、といったように、まち全体を一つのホテルに見立て、宿泊客をもてなす宿泊施設です。遊休不動産を「まちやど」として活用することで、遊休不動産の減少、飲食店をはじめとする地域経済への波及効果など、さまざまな効果が生まれます。

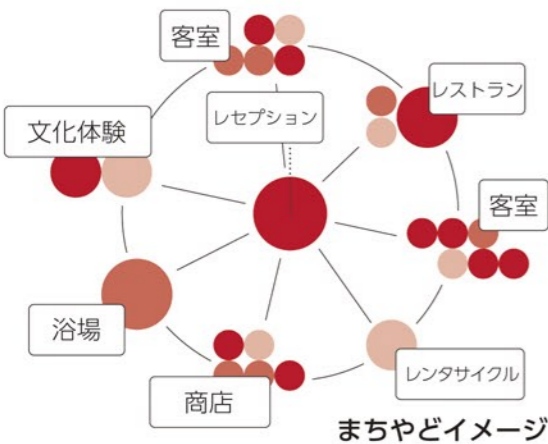
現在、受講生を中心に、「まちやど」のオープンに向けて、会社設立準備、建物改修設計に取り組んでいます。



リノベーションスクール

まちに実在する空き家や空き地、公共空間を題材に、その建物の価値だけを考えるのではなく、エリアの価値を高め、まちを再生する事業をつくり、人とお金の循環をまちに生み出す手法と思想を学ぶ実践的な場です。

本市では平成28・29年度に「リノベーションスクール」を開催。受講生は、市内の遊休不動産を対象に、リノベーション事業プランを作成し、遊休不動産オーナーなどに提案を行いました。(左写真)



富岡リノベーションまちづくり構想検討委員会

人口減少・少子高齢化が進むことから、遊休不動産というまちなかに眠っている資源を新たに活用し、自分たちの暮らしや仕事をつくっていく時代が訪れます。

この縮小していく社会において、長期的に官民で何をやっていくかを宣言するために、「富岡リノベーションまちづくり構想検討委員会」を開催します。(全5回)

第1回は、リノベーションまちづくりの実践者である大島芳彦さんの講演の他、富岡の地域経営課題を洗い出し、リノベーションまちづくりで、どのようにまちを楽しく変えていけるかを委員と参加者で考えます。



●大島芳彦さんプロフィール

1970年東京都生まれ。大手組織設計事務所勤務を経て、2000年ブルースタジオにて遊休不動産の再生流通活性化をテーマとした「リノベーション」事業を起業。その活動域は建築設計にとどまらず、不動産商品企画、コンサルティング、グラフィックデザイン、プロパティマネジメントなど多岐にわたる。実需、事業用を問わず単体不動産の再生を手掛ける一方で、団地再生、地域再生など都市スケールの再生プロジェクトを自治体とともに取り組む。

講演・委員会ともに参加可能です。まちづくり、遊休不動産の活用、まちやどなどに興味がある人は、ぜひご参加ください。(事前申込制)

日時 7月18日(水)、午後6時30分
会場 富岡製糸場(入場無料)
※駐車場は、富岡駅東駐車場が無料で利用できます。

テーマ 本市の現状の課題+リノベーションまちづくりとまちやど

講師 大島芳彦さん(株)ブルースタジオ専務取締役、(株)リノベリング取締役、(株)シーナタウン 取締役
申し込み・問い合わせ 拠点整備課 ☎内線1332、Eメール renovation@city.tomioka.lg.jp